

W027 小堀谷（青谷）鍾乳洞（静岡県のGEO
DATA（24）：地学散歩（103））

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2022-07-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 楠, 賢司, 三須, 寛希, 新村, そら メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.14945/00029067

W027 小堀谷（青谷）鍾乳洞



国土地理院 地理院地図（電子国土Web）

小堀谷鍾乳洞（別名：青谷鍾乳洞）は浜松市天竜区青谷にある。鍾乳洞を形成するのは秩父帯の井伊谷層（石炭紀～ペルム紀）に属する石灰岩である。

入口は高さ約5m、幅約2mであり、約25mまではやや狭い空間が続くが、そこを越えるとホールが広がり、その空間に神像型の石筍(写真右下)が祀られている。鍾乳洞は延長約60mの貫通型であり、出口側は表層が崩落して生じた陥没孔(ドリネ)が地表水の吸込穴(ポノール)となっている。この鍾乳洞は奈良時代末期の遺跡でもあることから、洞内に足を踏み入れると地質学と考古学の両方のロマンを同時に感じ取ることができる

であろう。

入口付近には5台程度の無料駐車場があり、入洞も無料である。入口の右横には洞内の照明用配電盤があり、入洞の際はスイッチをオンにして入ることをお勧めする。(楠 賢司・三須寛希・新村そら)